

「教員になる」という想いを全力で支援します



未来への挑戦

平成29年度 第3号

宮崎国際大学 学生教職支援センター通信 2017年10月10日発行



3年教育学部小幼コース 模擬授業



3年教育学部幼保コース 模擬保育

平成29年度教員・保育士採用試験合格のための

特別対策合宿A・B 2泊3日の合宿を実施しました

今年度で3回目となる「教員・保育士採用試験合格のための特別対策合宿A・B」が、宮崎県青島青少年自然の家において9月20日（水）から9月22日（金）までの2泊3日の日程で行われました。この合宿は、採用試験に対する自己の課題や今後の対策について自覚を深めるとともに、全員が目的の達成を図ろうとする機運を高めることをなどを目的としています。

昨年度は教育学部2・3年生小幼コース、幼保コース対象に行いましたが、今年度は国際教養学部教職課程の3年生も参加し、教育学部学生及び教職員合わせて70人を超える合宿となり、「学生のための恒例行事」として形が整ってきました。

はじめに入所式が行われ、山下学長の激励の言葉や、福田教育学部長のあいさつ、学生代表によるあいさつなどがありました。



山下恵子学長の激励の言葉



福田亘博教育学部長あいさつ

また、入所式に先立ち、学生実行委員の紹介がありました。今回の合宿では、実行委員やリーダー、各係が主体的に活動する学生参画型の合宿が展開されました。特に、学生実行委員のメンバーは合宿前にプログラムに沿ってシミュレーションを行うなど、それぞれの役割を十分確認して臨んでくれました。



学生実行委員紹介



学生代表濱田美羽さんあいさつ

続いて、第1日は各学部、各学年ともに個人面接の練習がありました。面接は宮崎国際大学と宮崎学園短期大学の教職員が担当し、大学独自に作成した質問資料を基に行いました。学生が勉強できるように参考資料を一か月以上前に配付するなど、準備を十分に行った上での面接練習であり、本番さながらに行われました。



教育学部 幼保コース面接練習



教育学部 小幼コース面接練習



教育学部 小幼コース面接練習



国際教養学部 面接練習

〔教育学部2年生の感想〕

- 面接試験ではこんなに緊張するのかが分かりました。もっと知識の幅を広げたいです。
- 個人面接練習をしてもらうことで自分に足りない知識や答え方などが分かりました。
- 面接を通して自分の未熟さを痛感しました。これから気合を入れて勉強したいです。
- 先生方が丁寧に指導してくださり、やる気ができました。

3年生の小幼コースでは、かつて宮崎県教育委員会で仕事をされた経験豊富な先生から、教員採用試験の概要や一次試験・二次試験の具体的な内容・配点、採用試験までの対策、計画などについて大変分かりやすい説明がなされました。その後、国語・算数・社会・理科の模擬授業の練習が行われました。



〔教育学部小幼コース3年生の感想〕

- 自分のよい点と改善点を指摘してもらうことができよかったです。
- 模擬授業に対する自分の準備不足を感じ、反省させられました。
- 模擬授業の時間配分やその後どんな質問をされるのかなど分かってよかったです。
- 教科書をよく読んで理解しておくことが大事だと分かりました。

第2日には、宮崎学園本部の宮原本部長から、2年生を対象に、教員採用試験に向けての対策と題して講義が行われ、受講した学生は今年度の採用試験問題の解説や学習指導要領との関連などについて理解を深めることができました。



〔教育学部小幼コース2年生の感想〕

- 理科の採用試験を解いた後、教科書と学習指導要領を見比べたり、解説を聞いたりしてとても分かりやすかったです。
- 試験を受けるための勉強法を知ることができてよかったです。
- 実際に採用試験の問題を解きました。小学校の問題でもここまで深く掘り下げるのだと思いました。

また、児童・生徒の様々な問題行動を想定した場面指導練習や集団討論練習なども行われました。場面指導では児童の話聞き、考えさせ、分かりやすく話し、問題解決に導くようにします。集団討論では理解力、表現力、指導力、協調性、冷静な態度等が求められます。学生は難しさを感じるとともに、勉強する上での課題が明らかになったようです。



幼保コースは採用試験に向けて就職・進学支援課長の講義、ピアノ弾き歌い、模擬保育、グループ発表会が行われました。模擬保育は3年生全員が行い、事前に保育指導案を作成し、教具や製作見本等を準備して臨みました。

グループ発表会は2・3年生混合のグループで行い、パネルシアターや絵本を使った運動遊び、ゲーム等の発表がなされました。



模擬保育の様子（製作指導）



グループ発表の様子（パネルシアター）

〔教育学部幼保コース2・3年生の感想〕

- ・ 練習をして模擬保育に臨みました。抜けているものがあり難しかったですが、良い経験となりました。
- ・ 教材研究や指導案の大切さを確認することができました。
- ・ 先生方のコメントが的確で理解が深まりました。
- ・ 先輩達と協力して発表したりなど、とてもよい経験ができました。

講義の合間にレクリエーション

2日目の午後は、全員でレクリエーションを楽しみました。体育館では、室内オリンピックと銘打った青少年自然の家の方々による多彩なメニューのスポーツを行いました。個人面接や模擬授業、場面指導など緊張した時間が続いた後でもあり、全員がはじけるように楽しんでいました。最後の綱引きなどは、チームワークを発揮して大変盛り上がっていました。また、談話コーナーにおける卓球でも大きな笑い声が上がり、エネルギーを発散していました。



楽しい食事タイム

2泊3日の合宿の楽しみの一つは、バイキング方式の食事です。男子学生も女子学生も実によく食べました。少し太ったという学生もいましたが、満足そうでした。食事のエネルギーで合宿を元気に乗り切りました。

2日目の夜は、国際教養学部では、宮崎市立大宮中学校の新規採用教員、杉尾美波教諭が同様に自分の体験に基づく採用試験対策の講話をしてくださいました。

また、教育学部の小幼コースでは宮崎市立加納小学校の谷口綾教諭が、幼保コースでは、幼保連携型認定こども園宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園の竹尾礼可保育教諭が、採用試験対策や職場の状況などについて体験を基に貴重な講話をしてくださいました。



杉尾美波さんの講話

講話の感想

〔国際教養学部3年〕

- 私たちにとって一番身近ともいえる存在の方の講話であり、最新の情報ともいえる内容だったのでとてもためになりました。
- 歳も近く、生き生きとした杉尾さんのリアルな話を聞くことができよかったですと思いました。教員採用試験のこともよく分かったので、もっとがんばろうと思いました。
- 情熱あふれる先輩から、教員を目指された過程や実際に採用された現場のことまで聞かせていただき、とても印象的で刺激になりました。

〔教育学部小幼コース3年〕

- ぼろぼろになるまで、テキストを使い込み、勉強しようと思いました。話が聞けてよかったです。
- 現職の先生の話を知ると、私も早く学級を受け持ちたいなという気持ちになると同時に、やはり合格するためには、それ相応の頑張りが必要なのだと思いました。

〔教育学部幼保コース3年〕

- 面接の内容や実習のことを聞くことができ、ためになりました。

3日めは模擬試験と水泳の練習でした

(※模擬試験と水泳は教育学部対照)

模擬試験を通して2年生は採用試験でどんな問題が出題されているのかを知り、勉強不足を実感したようです。3年生は昨年よりも解けるようになったという学生が多かったです。

水泳は先輩の4年生がパソコンを使って丁寧に指導してくれました。水泳の試験の流れや留意点などの説明もありました。練習後、50mまたは25mのタイムを計測し、今後練習を重ねていく際の目安としました。最後に選抜メンバーによるリレーをして盛り上がりました。



合宿を振り返って

国際教養学部3年

- 今回の合宿は、最初は本当に役に立つのだろうかかと半信半疑だったのですが、参加してみて今後の自分の進路にとっても役に立つことばかりでした。特に、3日目の授業見学は、自分の目指している高等学校で直接生徒とふれあい、自分の理想とする授業を見ることができたことは、本当に貴重な体験となりました。これから自分の夢の実現のため、今回の合宿の記憶を忘れず有効活用したいと思います。
- 全体を通して、教員という職業に対してまだまだ準備が足りないと感じた3日間でした。そして、もっと勉強に励み、教師という夢を実現させたいと一層強く思いました。
- 2泊3日という限られた時間の中で、特別対策プログラムを通して本当に多くのことを学ぶことができました。大学での教職課程プログラムでは学びきれない実践的な内容を集中して学んだので、今後の教職関連のすべてのことに生かしてがんばりたいと思います。

教育学部小幼コース3年

- 試験まで1年もないので、もっと勉強しなければならないという焦りと自覚が生まれました。模擬授業、試験、二次練習を通して知識・勉強不足、理解力の不足を実感しました。今後はこの気持ちを行動に移し、しっかり勉強していきたいです。合宿に参加してよかったです。ありがとうございました。部屋が学年別でよかったです。みんなで勉強する時間があってもよかったですと思いました。
- 二次対策はこれまであまり経験がなかったので、本当に難しかったです。模擬試験では自分が思っている以上にできないことを実感し、また普段の授業にはない緊張感でよい経験ができたと思います。模擬授業にしても場面指導にしても一人で全て演じることがこんなに難しいとは思っていませんでした。また、4つ全てに共通して、問題文（質問）をしっかり読み、何を聞かれているのか、何を求められているのかを把握することが大切だということに気付きました。貴重な経験ができたとても濃い3日間でした。

教育学部幼保コース3年

- 実習前に模擬保育ができてよかったです。今後の目標も立てることができました。
- 普段では経験できないような活動がたくさんあり、自分自身の実力を確認する良い機会になりました。

教育学部小幼コース2年

- 三日間を通して教師になるための資質であるコミュニケーション能力、多面的にものごとを測る能力や視野、他者と計画をつくりだす協調性などが身に付きました。しかし、まだ自分が教師になるためにはこれらの能力を高め、知識を多く取り込まなければならないと知りました。今回学んだことをさらに高め、自分が教師になるという気持ちを鼓舞し、採用試験に向け日々の授業に取り組み、少しでも自分を変えていきたいと思います。

教育学部幼保コース2年

- 普段学べないようなことや、様々な活動を行うことができてよかったです。事前の準備が大事だということが分かりました。